

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	水質管理等強化対策費	担当部局庁	健康局	作成責任者			
	平成17年度(組換)	担当課室	水道課	水道課長 宇仁菅 伸介			
会計区分	一般会計	政策・施策名	Ⅱ-2-1 安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水道法第4条第2項	関係する計画、通知等	「水質基準に関する省令の制定及び水道法施行規則の一部改正等について」 「水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水道原水管理の強化のため、水道原水の水質汚濁の原因となっている農薬や溶剤等の新しい化学物質について水質検査方法等の検討、水質検査の精度管理、水道用薬品等について、水道水質に影響を及ぼさないような基準の策定を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	外部精度管理調査計画の策定・実施、水質検査機関担当者を対象とした研修会の実施、一部の登録水質検査機関を対象とした精度の取組(検査機器・薬品等の管理)に関する実地調査の実施 水道水中の物質の濃度を測定するための水質検査方法の設定、水道用薬品に関する検討・調査						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	14	14	14	12	17
		補正予算					
		繰越し等					
		計	14	14	14	12	17
		執行額	14	13	13		
	執行率(%)	100%	92.9%	92.9%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (毎年度)
	水質基準適合率	成果実績	%	99.97	集計中	-	100
		達成度	%	99.97	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	調査実施件数 (調査参加機関x実施項目数)	活動実績 (当初見込み)	件	806 (前年度程度)	912 (前年度程度)	910 (前年度程度)	- (前年度程度)
単位当たりコスト	4,396(円/件)	算出根拠	4,000,000 _{※1} /910=4,396 ※国立医薬品食品衛生研究所振替額のうち、外部精度管理調査計画の策定・実施等実施分				

平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由
	食品等試験検査費	10.2	15.5	新規事業の実施(水道危害項目等水質管理強化対策)
	委員等旅費	1	1	
	諸謝金	0.4	0.5	
	庁費	0.4	0.4	
計	12	17		

事業所管部局による点検						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	安全で質の高い水道を確保するため、水道水質に影響を及ぼさないような基準の策定を行うことは広く国民のニーズがある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	水道水質に影響を及ぼさないような基準策定については、全国一律に行うべきものであり、国が実施すべき事業といえる。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	安全で質の高い水道を確保するため、水道水質に影響を及ぼさないような基準の策定を行うことは、優先度が高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		×	業務を実施するにあたり、当局または当課の取組を十分に理解し、かつ水道水質検査に関する専門的な知識を有している必要があるため一部随意契約としている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	本事業を実施することで安全で質の高い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	調査実施件数によるところがあるが、適正な執行を行い、単位当たりコスト削減に今後も努めることとする。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	中間の業務実施過程において内容について仕様に見合った成果品とすべく、適宜協議しており、中間段階での支出は合理的である。		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	振替の依頼過程、成果物の発注及び納品過程において費目・用途を十分に把握できており、事業目的に真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	成果実績及び活動実績からみて他の手段と比較して実行性の高い手段といえる。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	前年度の調査実施件数と同程度であり、見込みに合ったものになっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	成果実績及び活動実績からみてその成果物は十分に活用されている。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>支出先・用途については、振替の依頼過程、成果物の発注及び納品過程において十分に把握できており、内容についても仕様に見合った成果品とすべく、中間の業務実施過程において適宜協議している。</p> <p>H24年度においては、活動実績である調査実施件数が2件減少したものの前年度とほぼ同程度であり、当初の見込みどおりの実績となっている。今後も引き続き効率的かつ適切な執行に努めることとする。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	水質検査方法の検討や水質精度管理により水道水の管理強化を図るための事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	334	平成23年	303	平成24年	262

厚生労働省 13百万円

水道原水管理の強化、水道法に基づく登録
水質検査機関の水質検査の信頼性を確保、
水道用薬品等の基準の設定

【振替】

A. 国立医薬品食品衛生研究所 5.2百万円

・水道法第20条に基づく水質検査機関等の
外部精度管理調査
・水質基準等検査法検討調査

【一般競争入札】

B. (株)日水コン 3.5百万円

・水道水及び水道用薬品等に関する調査

【少額随契】

D. 民間業者(7) 3百万円

・外部精度管理調査の試料調整法検討及び
データ解析等

【少額随契】

C. 民間業者(3) 3百万円

・水道水中の放射性物質モニタリング結果整理等
業務
・平成24年度水道水質関連調査結果等整理業務
・平成24年度登録水質検査機関登録更新等支援
業務

対象外(事務費) 2.2百万

対象外(事務費) 1.3百万

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.国立医薬品食品衛生研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	和光純薬工業株式会社 他 外部精度管理調査の試料調製法検討及び データ解析	3			
光熱費	電気・ガス・水道等	1			
物品購入費	分析機器・実験器具	0.7			
賃金	水質基準等検査方法検討調査	0.5			
計		5.2	計		0
B.(株)日水コン			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	人件費	3.3			
印刷製本費	印刷製本費	0.1			
その他	交通費・雑費	0.1			
計		3.5	計		0
C.(株)日水コン			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	人件費	0.9			
印刷製本費	印刷製本費	0.1			
計		1	計		0
D.和光純薬工業株式会社			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	人件費	1			
計		1	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立医薬品食品衛生研究所	水道法第20条に基づく水質検査機関等の外部精度管理調査	3.4		
2	国立医薬品食品衛生研究所	水質基準等検査法検討調査	1.8		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日水コン	水道水及び水道用薬品等に関する調査	4	1	80%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日水コン	平成23年度水道水質関連調査結果等整理業務	1	随意契約	
2	(株)環境管理センター	平成24年度登録水質検査機関登録更新等支援業務	1	随意契約	
3	パシフィックコンサルタンツ(株)	水道水中の放射性物質モニタリング結果整理等業務	1	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	和光純薬工業株式会社	外部精度管理調査の試料調製法検討及びデータ解析	1	随意契約	
2	(株)バイオテック・ラボ	2号館3階生活衛生化学部第3室改装工事	1	随意契約	
3	(株)バイオテック・ラボ	Q-Micro/2695 動作点検	0.4	随意契約	
4	(株)バイオテック・ラボ	エドワーズ ロータリーポンプ E2M28 修理	0.3	随意契約	
5	(株)バイオテック・ラボ	2号館3階生活衛生化学部第3室換気扇取り付け作業	0.16	随意契約	
6	(株)ジャパンエクスプレス	資料保管委託料	0.1	随意契約	
7	東京高圧山崎(株)	窒素ガス等購入	0.06	随意契約	
8	(株)バイオテック・ラボ	ウォーターズ Alliance2695 修理	0.04	随意契約	
9	(株)鈴木商館	容器廃却料	0.03	随意契約	
10					